

## 中濃農林事務所の普及活動状況 令和5年12月25日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■岐阜県女性農業経営アドバイザー 武儀地区研修会

岐阜県女性農業経営アドバイザー武儀地区の研修会が12月7日に開催され、5名の会員が出席した。

今回の研修会は、女性農業経営アドバイザーの会員でもある花生産者が講師となり、『花で年末年始を明るく迎えよう！』をテーマに寄せ植えを行った。研修会終了後は、さらに活動が活性化するよう今後の活動方針等について意見交換が行われた。

農業普及課では、女性農業経営アドバイザーの資質向上や次世代の女性農業リーダーの育成など、充実した組織活動になるよう今後も支援を行っていく。  
(地域支援係)



【寄せ植え研修】

#### ■新規就農者・研修生 JAめぐみの集合研修

JAめぐみの管内の研修拠点等の研修生は、主に実技中心の実践研修をしており、それを補完する講義として集合研修が開催されている。

12月は毎週金曜日午前に開催され、「JA事業・青果物流通」「農業融資」「農業新聞」「植物生理」「鳥獣害対策」「農業経営」等の講義が行われ、農業普及課では開催を支援した。「鳥獣害対策」では、中濃農林事務所鳥獣被害対策専門指導員より現地での取り組みなどが講義された。

受講生はオンライン参加者も含めて毎回20名程度で、熱心にメモを取るなど意欲的に取り組んでいる。

農業普及課では、新規就農者の育成と営農定着に向けて、集合研修や新規就農者への重点巡回指導などに取り組んでいく。  
(地域支援係)



【鳥獣害の講義】

### 安心で身近な「ぎふの食」づくり

#### ■有機農業 意見交換会

今年度、農業普及課では、有機JAS認証を取得し水稻を生産している管内の農業者のほ場に有機農業営農モデル実証ほを設置し、生育状況等の調査を実施してきた。

12月14日には、有機JAS認証を取得した生産者、有機農業に興味のある生産者、関係機関が集まり、意見交換会を実施した。モデル実証ほの結果や有機栽培における栽培管理方法等を情報共有し、意見交換を行い、今後の課題等を確認した。

農業普及課では、今後も中濃地区有機農業推進プロジェクトチームとして課題の共有等を行い、有機農業実践希望者の支援を行っていく。  
(地域支援係)



【意見交換会】

## ぎふ農畜水産物のブランド展開

### ■キウイフルーツ 剪定研修会

J Aめぐみのほらどキウイフルーツ生産部会では、電動式剪定バサミを用いたキウイフルーツの剪定研修会を開催し、ハサミの使用方法を確認するとともに剪定技術の習得を図った。

電動式剪定バサミを使用することで、太い枝でも力を入れることなく簡単に切れることから、作業スピードが上がり、効率よく作業ができることが確認できた。一方で、切れ味が鋭いことから作業時の足場等をしっかり確保し、これまで以上に作業の安全性に配慮する必要がでてきた。

剪定技術では、ベテランの生産者より、切る枝、残す枝の区別について実技を交えた説明があった。最初は時間がかかるが、慣れれば剪定で迷うことは少なくなるといった助言もあった。

農業普及課では、グリーンな栽培体系への転換サポート事業を活用して電動式剪定バサミの導入支援を行うとともに、効率的な作業方法について関係機関と共に支援を継続していく。

(地域支援係)



【剪定研修会】